

本校地歴科の日比淳先生が北海道教育実践表彰を受けた。二月十六日に教育局長が来校し、校長室で賞状の伝達式が執り行われた。

日比先生は大学生時代から継続している東南アジアの文化研究を授業に生かし、興味深い授業を展開している。

インドネシアやマレーシアのシャーマンの格好をした日比先生が現れて、教室でいきなり怪しい儀式を始めのを見て、あっけにとられた生徒も多いはずだ。

本校の胴付流輝校長によると、東南アジア諸国への興味をかき立て、自然と各国の文化を学ばせてくれる日比先生の授業は高く評価されており、その内容をまとめた研究発表は他校の先生にも影響を与えているという。

また、地域の研究会において、長年指導的な役割を果たしてきたことも評価され、今回の表彰に結びついた。

表彰について日比先生は「東南アジアのシャーマンのマネをしている内に、北海道の精霊に影響して、この幸運につながったのかも」と語る。

同じ地歴科の岩野鮎先生は「日比先生のことを怪しい先生だと誤解している生徒もいるようだけ

ど、東南アジアのシャーマニズムから文化人類学を研究し続けているすごい先生なんですよ」と話した。

【記者 蔵津裕介】

みんな大好き「あっちゃん先生」こと日比先生のすごさを紹介します。日比先生と言えはめっちゃ怪しいカッコウでいきなりバリ島の儀式を始めて生徒になんかの水を振りかけてパニックにさせたり、教科書の話から脱線して呪いとか除霊とかの話をやると続けてく

られてくれたりと、私なんかはこの学校で一番の先生だと思えます。おかげで試験範囲が終わらなくて定期考査前に先生自身がパニックになったり、まじめな子から怒られたりしますが、これって「人間的」ってことで

先生は大学の先生にくっついて東南アジアを旅行している研究しました。先生になってからも夏休みや冬休みを利用して東南アジアに行きまわって、奥さんにだいたい怒られているみたいです。

今回、あっちゃん先生を社会の部屋へ潜入突撃取材しました。社会の部屋はゴッチャゴチャで、特

にあっちゃん先生の机のまわりは謎の道具と資料が山になってます。あっちゃん先生になんで東南アジアに偏っているのか聞くと「学生時代に『魔女ランダ考』という本を読んだことがきっかけだよ」と話してくれました。学生の頃から魔女好きなんです。それってホラー好きってことなのか聞くと、「確かにホラーっぽいよね。でも、ホラーとは違うんだよ」と話すので、それってどういうことか聞くと、何か難しい話になりました。

あっちゃん先生はけっこうすごい先生らしく、野川先生が「日比先生は表彰されてるんだよ」と教えてくれました。というわけで、あっちゃん先生にお気に入りのかぶり物を被ってもらい、二人で記念写真を撮って取材を終わりました。

【記者 戸松メアリ】

受験勉強の中心となるのが英語と数学であることは誰もが認めることでしょう。一年生、二年生は七月模試を控え、三年生の多くは部活動を引退しているよいよ受験勉強本番です。当然、英数には頭を悩ませ、時間をかけて取り組んでいることと

焦点を当て、どのように取り組んでいけば数学が得意になるのか、また、受験勉強を成功させられるのかを調べていきます。特に、本校で全員が持っている『青チャート』について、一つの疑問をぶつけていきます。

数学の取り組み方について、数学科の宇賀みりあ先生に聞きました。宇賀先生は本校で五年目、この三月に卒業生を出した教師歴十二年のベテランです。

「まず、毎日少しでも数学に取り組む家庭学習時間を作ることです。週に一回、長時間かけて消化しようとしても失敗します。次に、基本を大事にすることです。例えば、数学が苦手な人は教科書の例題や『4ステップ』のA問題にしっかりと時間をかけ、繰り返ししましょう。B問題に時間が掛かりすぎてつらいなら、赤字で解答を書き写し、解き方を確認するだけでもいいです。逆に、数学が得意な人は、宿題だけでなく、『青チャート』の関連部分を解いていきましょう。その場合も無理をせず、出来る範囲で結構です。はじめは例題だけににして、後で練習問題に取り組みむというように段階的に進めましょう」

・数学の受験勉強で成果を上げるには具体的にどう

い込めるかが問題だと思います」

・ありがとございます。参考にさせていただきます。

【記者 舞台ひかる】